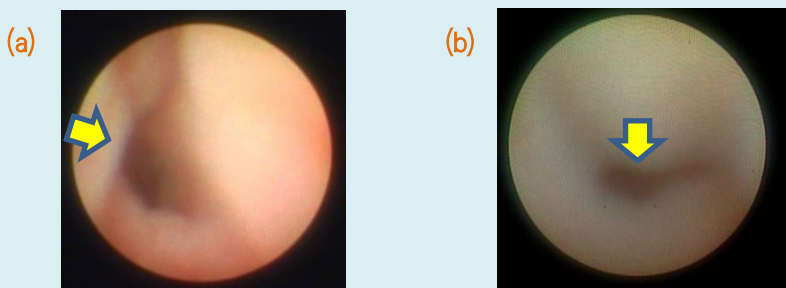


4 主な眼の病気・症状

薬の影響で起こる眼の病気や症状を解説します。

るいどうしょうがい りゅうるい 涙道障害・流涙

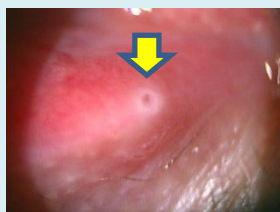
涙道障害は涙の通り道である「涙道」が狭くなったり、塞がったりすることを言います。また、涙で眼の表面がにじんだり、涙がこぼれ落ちたりする症状（進行例）を「流涙」と言います。



(a)抗がん剤の影響で、涙囊から鼻涙管にかけての内腔粘膜が腫れている。本来、涙道は円形であるが、変形している。(b)抗がん剤ティーエスワンによる涙小管狭窄(ティーエスワンの涙道障害の60%を占める)。どちらも涙道内視鏡による所見。



正常な左下涙点



閉塞しかかっている
右下涙点



完全に閉塞した
左下涙点

《涙道障害を起こす薬剤別頻度》

薬剤名	頻度
ティーエスワン	約 50%
ティーエスワン併用	約 20%
タキサン系 [※]	約 15%
その他	約 15%

静岡県立静岡がんセンター5年間(2014-2018)N=252(頭頸部がんは除く)

※タキサン系の抗がん剤(カッコ内は商品名)の一例

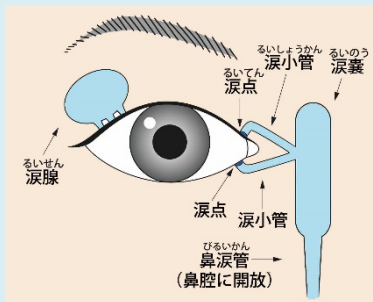
パクリタキセル(タキソール、パクリタキセル)

アルブミン懸濁型パクリタキセル(アブラキサン)

ドセタキセル(タキソテール、ドセタキセル、ワンタキソテール)

など

《私たちの涙のながれ》



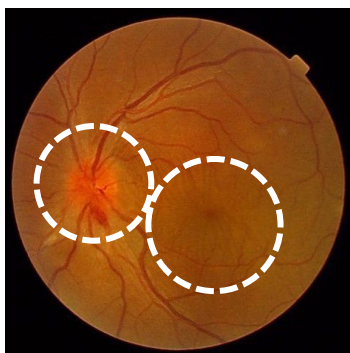
涙は涙腺で産生され、目の表面を通り、涙点から涙小管、涙嚢、鼻涙管を経て鼻に流れています。

眼乾燥 (ドライアイ)

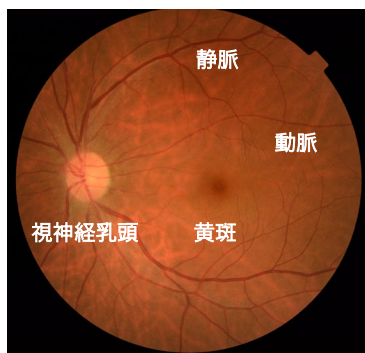
涙の分泌量が減るなどにより、目の表面が乾燥する状態で角膜に傷がつくことがあります。眼が乾く感じや、ゴロゴロする、痛み、充血、流涙などの症状があります。

視神経網膜炎

視神経は網膜で受け取った映像を脳に伝える働きがありますので、網膜とつながっています。「視神経網膜炎」は「視神経」と「網膜」の両方に炎症が起こった状態を言い、視力や視野の異常などが起こります。



免疫チェックポイント阻害薬による「左眼視神経網膜炎」
で示した部分が腫れている



正常な眼底

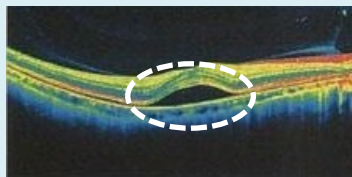
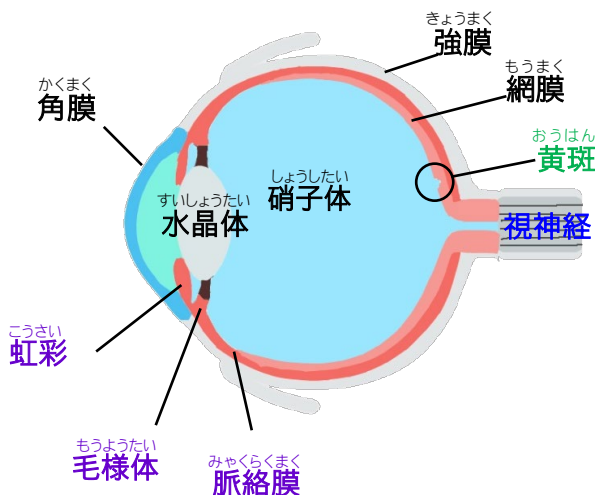
球後視神経炎

視神経はその発生部位により分類されます。球後視神経炎は、眼球より後ろの視神経の炎症で、視力低下や視野障害などを起こします。

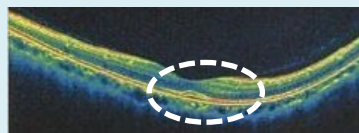
ぶどう膜炎・おうはんふしゅ黄斑浮腫

こうさい 虹彩、もうようたい 毛様体、みやくらくまく 脈絡膜の3つの部分から構成されている組織です（下図参照）。色素と血管に富んでいるので、眼内に栄養と酸素を供給したり、瞳孔以外から光が入ったりするのを防ぐ働きをしています。「ぶどう膜炎」とは、このぶどう膜の一部もしくは全体に炎症が生じた状態のことです。症状は、羞明、かすみ目、視力低下、眼の痛み、飛蚊症などです。

黄斑は網膜の中心部分です。重要な視細胞が集中していて、形や大きさ、色などを識別する役割があります。「黄斑浮腫」は黄斑部の網膜内に水が溜まり腫れた状態を言います。症状は視力低下やかすみ目、小視症(11 ページ参照)などです。



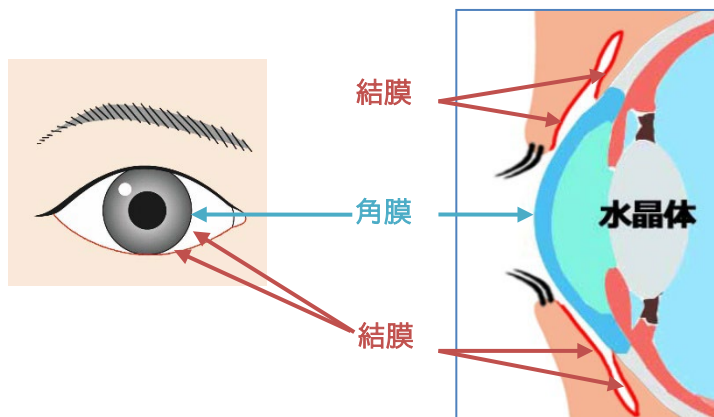
分子標的薬による黄斑部漿液性剥離



分子標的薬中止により改善

結膜炎・角膜障害

結膜と角膜は下図で示した所です。



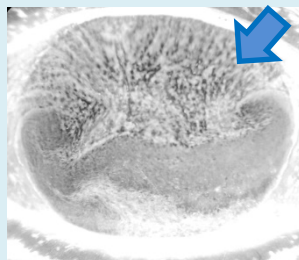
「結膜炎」「角膜障害」とは、それぞれの所で障害が起きた状態を言います。

《正常な角膜と角膜障害の状態》

<正常な角膜>



<障害を受けた角膜>



(*)角膜上皮障害(上方に特に強い障害が認められる)

「結膜炎」の症状は、眼が赤くなったり、目ヤニが出たり、流涙、異物感などです。「角膜障害」は、眼の痛み、異物感、視力低下などが起こりますが、病態(角膜の障害度)で異なります。

角膜びらん、角膜潰瘍

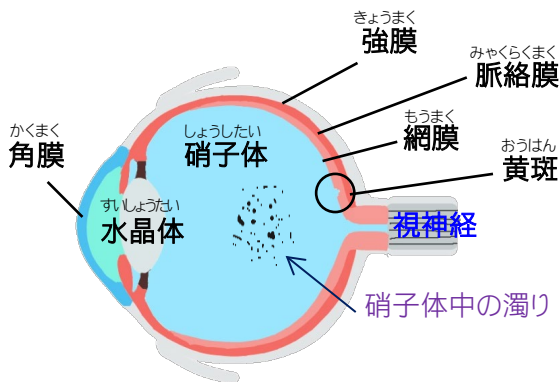
「角膜びらん」は角膜の一番上の表面がただれる状態を言います。
「角膜潰瘍」は角膜に感染が起きて角膜の真ん中が細菌により侵食される状態を言います。目の痛み、充血、まぶしさ、視力低下などの症状がみられます。

白内障

水晶体は、外からの光を屈折させて、網膜に像を結んだり、ピントを合わせたりするなどの役割をして、本来は透明な臓器です。この水晶体が濁り、光が通りにくくなる状態が「白内障」です。視力低下や目のかすみ、まぶしく感じたりする症状があります。

ひぶんしょう 飛蚊症

小さな糸くずや蚊のようなもの、あるいはフワフワと浮遊物が飛んでいるように見える現象で、目を動かすと一緒に動く特徴があります。
硝子体に何らかの原因で濁りが生じて起こります。



もうまくじょうみやくへいそく
網膜静脈閉塞

網膜静脈は網膜に分布する血管です。この静脈が何らかの原因で閉塞した状態を「網膜静脈閉塞」と言い、網膜が出血を起こします。症状は、視力低下や視野障害、変視症などです。

視力低下

物がみえにくくなる症状です。

しゅうめい
羞明

「まぶしい」ことを羞明と呼びます。ここでは、異常にまぶしく感じる状態のことを言います。

へんしししょう
変視症

物が歪んで見える症状です。

しょうししょう
小視症

物が小さく見える症状です。

ふくし
複視

物が二重に見える症状です。

かすみ目 (霧視)

かすみかかったように見える症状です。

こうししょう
光視症

暗い所で眼を閉じているのに、眼の端(多くは耳側)の方に光が走るのを感じる症状です。

やもう
夜盲

暗い所では、よく見えないという症状です。

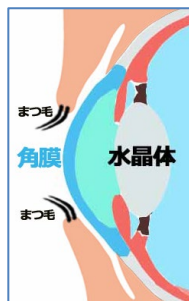
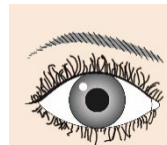
しょうもうらんせい しょうもう ちょうせいが
睫毛乱生・睫毛の長生化

「睫毛」とは「まつ毛」のことです。

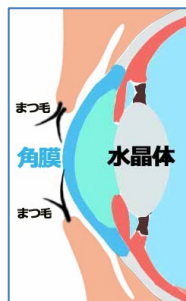
睫毛乱生とは、基本的に正しい位置に生えるまつ毛が、本来の向きに生えず、不揃いな状態のことを言います。

睫毛の長生化は、まつ毛が異常に長くなる状態を言います。

まつ毛が正常に生えずカールすることで、角膜炎になることもあります（下図参照）。



<正常な状態>



<睫毛乱生と長生化>

がんけんえん
眼瞼炎

「眼瞼」とはまぶたのことです。眼瞼炎はまぶたに生じる炎症を言います。